

## 呼吸器導入患者様の退院までのステップ

呼吸器導入など病状や療養体制に大きな変更があった場合、在宅でも病院と同様のケアが継続して行えるように知識・技術の習得、環境調整を行う必要があります。大まかに以下の様にご理解ください。

1. 全身状態安定、適切な管理方法の確立
2. 管理方法についての知識・技術習得
3. 環境調整（自宅改装、電源確保 etc）  
医療機器が問題なく使えるよう、居室の変更や改装、電源確保などを行います。
4. 支援体制整備：サービス(ホームドクター、訪問看護、ヘルパー、リハ、訪問入浴、デイサービス etc)確保、制度申請、物品(吸引器、蘇生バック etc)準備  
医療的なケアを要する状態になれば、できるだけホームドクターを確保しましょう。ホームドクターは日常の医療管理と入院要否の判断などを行っていただく目的であり、特に神経筋疾患の専門である必要はありません。  
サービス利用には介護保険や身体障害・自立支援法の申請が必要になる場合が多くあります。これらの審査には一定の時間を要するため、できるだけ早い時点で申請を行いましょう。また、認定度が現状の病態にそぐわない場合は再申請を行うことも考慮します。
5. 在宅調整会議(合同カンファレンス)
6. 病棟内宿泊訓練(ナイトトレーニング)
7. 試験外泊
8. 退院

2-4については一定の時間を要することが多いため、呼吸器導入などでこれらが必要とわかった時点からできるだけ早く取り組んでください。病状が安定した状態では、長期間入院を継続することは困難ですので、早い時点から主治医や看護師、MSWや保健師、ケアマネージャーなどと相談してください。

介護負担軽減のため、在宅では様々なサービスを利用することとなります。合同カンファレンスは、これらの在宅の支援機関と病院側、患者様・御家族が、共通の認識を形成し一貫した対応がとれるように実施するものです。病院スタッフと患者様・御家族、在宅支援機関の関係者が病棟でカンファレンスを行い、病状や実施しているケアの説明を行い、退院後の支援をどのように実施するか相談します。合同カンファレンスは、必要に応じて複数回実施する場合があります。

すべての指導が終了した時点で、病棟内で御家族のみで一晩ケアを実施していただくナイトトレーニングを行います。この時、医師が手技の確認や御自宅の環境、管理方法や受診方法などについて確認をさせていただき、在宅への移行が問題ないかどうか確認させていただきます。

ナイトトレーニングが終了すると、試験外泊を行います。一般の住宅は、医療機器の使用を想定して作られていないため、いろいろ整備したつもりでも、実際に御自宅でケアを行ってみると不都合が出てくるのが少なくありません。退院前にこうした点を確認することが試験外泊の目的です。また、この時に当院の看護師と呼吸器業者にも御自宅を訪問させていただき、御自宅の環境に問題がないかどうかを確認させていただきます。

ステップが多くて大変だと感じられるかもしれませんが、円滑に在宅へ移行し、安全な療養を営むためには必要なものと考えています。多くの患者様・御家族がこのステップを通過して在宅で療養を継続されています。がんばって乗り越えていきましょう。

## 病棟内宿泊訓練(ナイトトレーニング)

全ての学習項目が終了した時点で、退院後の生活をイメージし、体験していただくために宿泊訓練を行ってまいります。

◎目的は・・・

- 1、夜間の患者様の状態がわかる
- 2、人工呼吸器の必要な操作ができる
- 3、就寝準備から起床および、活動の準備までの必要な援助ができる
- 4、バイタルサイン、健康状態のチェックができる
- 5、在宅での療養体制、緊急時の対応の確認



◎神経内科医の当直の日に行います。

◎介護者は必ず2名、家庭で過ごす時と同じ介護者が行ってください。

◎ナイトトレーニングは個室を使用して行うため、部屋移動が必要なことがあります。

### 【準備していただくもの】

吸引器 聴診器 蘇生バッグ 筆記用具 鈴など合図の代わりにするもの  
介護者の食事 簡易ベッド代 (1台400円) その他宿泊に必要なもの

◎当直医師から在宅療養に必要な知識、自宅の環境、緊急時の受診方法などについて確認させていただきます。

### 【主な確認内容】

呼吸器の操作・知識、トラブル対応法  
健康観察方法、合併症についての知識・対応法  
呼吸理学療法、排痰・吸引手技  
緊急時対応手技、希望する緊急時処置の確認  
自宅での使用環境・生活内容、日常用・非常用物品の準備状況  
在宅医療環境(ホームドクター・訪問看護等有無、呼吸器管理主体)の確認  
HMV制度・呼吸器レンタル制度について  
緊急時受診方法、当院まで受診困難な場合の対応  
etc

## ナイトトレーニングスケジュール

当日は担当看護師がスケジュールに沿い、病室にうかがいます。  
 呼吸器の操作については必ず看護師の同席のもと実施してください。  
 当日の業務により、スケジュールに変更のある場合がありますので、ご了承ください。

	病棟の日課	実施項目
16時	部屋移動、必要物品の準備をさせていただきます	
17時	夕食配膳	夕食、服薬、洗面の必要な介助
18時		
19時		
20時		
21時		
22時	消灯	バイタルサイン測定 呼吸器点検・装着
23時	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     実際に家庭で過ごすときと同じように、体位変換などを計画してください                 </div>	
24時		
1時		
2時		
3時		
4時		
5時		
6時	起床	バイタルサイン測定 呼吸器除去
7時		
8時	朝食配膳	朝食、服薬、洗面の必要な介助
9時		排泄介助
10時		
メモ		

# ナイトトレーニング／チェックリスト

患者氏名 ( )

ナイトトレーニングまでに確認する項目

	確認日
1、学習項目はすべて終了している	
2、本人用の吸引器・聴診器・蘇生バッグがある	
3、介護者（2名）は誰か決まっている	
4、簡易ベッドの注文	
5、ナイトトレーニングの部屋の準備	
6、ナイトトレーニング実施日時の確認：介護者	
7、ナイトトレーニング実施日時の確認：当直医	
8、ナイトトレーニングスケジュールの作成・確認（1部コピーしカルテ保存する）	

ナイトトレーニング実施日 年 月 日

評価基準 ○：できている  
×：できていない（再指導が必要）

項目		備考
1、バイタルサイン、健康状態のチェックが行える		
2、人工呼吸器について		
1) 人工呼吸器の設定の確認が行える		
2) 回路の破損の有無が確認できる		
3) マスクを正しく装着できる		
4) 電源の操作が行える		
5) アラームの対処が行える		
6) 加湿器の水の確認・補充が行える		
3、人工呼吸器装着中、回路・マスクの位置に注意し、生活援助が行える		
4、洗面・服薬・排泄・食事・車椅子移動などの必要な援助が行える		

## 試験外泊について

すべての学習、ナイトトレーニングが終了すると試験外泊（1泊2日）を行います。医療目的で作られた病棟とは異なり、一般住宅は医療機器の使用を目的として建設されていないため、退院後に思わぬトラブルが生じる場合が少なくありません。試験外泊の目的は、御自宅で実際にケアを実施し退院前の最終確認を行うことです。この時、当院の看護師と呼吸器業者が御自宅を訪問させていただいて、自宅が呼吸器使用に問題のない状態かどうかを確認します。看護師の訪問には交通費の実費をいただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

日程は、平日で介護者2名が外泊に携われる日としてください。（病棟を10時以降に出発し、翌日は16時までには病院に戻ることができるように）休日に外泊したばあい、業者の訪問が不可能となってしまいます。

外泊中は21時にバイタルサイン・呼吸状態など病状の連絡をしてもらいます。

トラブルが生じた場合は大小にかかわらず速やかに病棟に連絡して下さい。

必要物品は外泊の項目を参考にしてください。

## 外出・泊について

自宅から外出及び外泊をするときは充分注意が必要です。公共の施設、交通手段、宿泊施設などを使う場合は、電源の確保ができるかどうかなどの事を事前に調べておく必要があります。また、緊急時に備えて出先での医療機関も調べておきましょう。

- 1、必ず電源の確保できる場所（外部バッテリーやバッテリーケーブルも準備しましょう）
- 2、人工呼吸器は埃や煙に弱いので、埃の多いところやタバコの煙のあるようなところは避けましょう
- 3、気温が15℃以下のところは避けましょう（15℃以下の場所では気道の気温を下げ、感冒の原因となるため）
- 4、旅行、長時間の外出をする場合は必ず主治医に相談して下さい
- 5、旅行の計画は十分余裕を持ち、休息をとれるようにしましょう
- 6、呼吸困難や呼吸器のトラブルに備え、必要物品を忘れずに携帯しましょう

必要物品：人工呼吸器（外部バッテリー）、呼吸回路・マスク（各2組）、加湿用水  
蘇生バッグ  
聴診器  
吸引道具（吸引器、吸引チューブ、吸引用水）  
内服薬等

（2008年5月改訂）